第5号様式(第9条関係)

(表面)

県外産業廃棄物の循環的な利用の状況報告書

令和 7年 7月 10日

香川県知事　　殿

報告者 住所　高松市松並町564
氏名　藤本産業株式会社
代表取締役 藤本 明大
電話番号　087-867-2034

循環型社会推進課
－7.10
受付

令和6年4月から6月までの間(令和5年度第 1 四半期)の県外産業廃棄物の循環的な利用の状況について、香川県における県外産業廃棄物の取扱に関する条例第10条の規定により報告書を提出します。

協議結果通知書又は直前の変更協議結果通知書の交付年月日及び番号			平成24年2月28日　23廃対第　53478－1号	
県外産業廃棄物県外産業廃棄物	事業場の所在地事業場の所在地		香川県高松市松並町564番地香川県高松市松並町564番地	
	一般的な名称一般的な名称		汚泥、動植物性残渣汚泥、動植物性残渣	
	種類種類		製紙スラッジ、コーヒー豆抽出粕、茶がら製紙スラッジ、コーヒー豆抽	
	県外排出事業者県外排出事業者	氏名又は名称及び代表者の氏名氏名又は名称及び代表者の氏名	参照別紙	
		又は所在地住所又は所	参照別紙	
		排出事業場の名称及び所在地排出事業場の名称及び所在地	参照別紙	
	搬入状況	搬入年月	搬入量	
		令和7年　4月	汚泥　115Ton　動植物性残渣　0Ton	
		令和7年　5月	汚泥　119Ton　動植物性残渣　0Ton	
		令和7年　6月	汚泥　106Ton　動植物性残渣　0Ton	
	保管量		汚泥　10Ton　動植物性残渣　0Ton	
再生品	種類		コンクリート構造物用目地板	
	性状		板状　木質分　28%　繊維分　37%　アスファルト分　35%	
	製造量		2,700　Ton	
	取引又は出荷の状況		出荷　2,650　Ton　在庫　20　Ton	

（裏面）

循環的な利用に伴い生じた廃棄物	一般的な名称	なし
	種類	なし
	性状	なし
	発生量	なし
	処分方法	なし
	処分量	なし
循環利用施設の点検及び検査、放流水の水質検査等の維持管理の状況		搬入協議書に記載事項のとおり
参考事項		

備考

1　毎年1回以上再生品の成分を分析し、その結果を翌年1月から3月までの期間の報告書の再生品の性状の欄に記載してください。

2　県外産業廃棄物の保管量については、当該四半期の末日現在の数量を記載してください。

3　当該四半期に排ガスの性状、放流水の水質等を測定したときは、その測定の状況及び結果を循環利用施設の点検及び検査、放流水の水質等の維持管理の状況の欄に記載してください。

4　記載事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付してください。

5　氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

抽出粕、茶がら

令和7年7

報告期間　；　令和７年４月　～　令和７年６月

藤本,

番号	排出事業者の名称	排出事業者所在地(都道府県名)	廃棄物の種類	搬入月		
				令和７年4月	令和７年５月	令和７年６月
1	オークラ製紙株式会社	愛媛県	汚泥	0	0	0
2	丸幸製紙株式会社	愛媛県	汚泥	4	4	8
3	四国コカ・コーラプロダクツ株式会社	愛媛県	動植物性残さ	0	0	0
4	阿波製紙株式会社阿南工場	徳島県	汚泥	51	60	60
5	株式会社日誠産業	徳島県	汚泥	0	0	0
6	日本製紙パピリア株式会社高知工場	高知県	汚泥	54	55	38
7	伊野紙株式会社	高知県	汚泥	0	0	0
8	高知加工株式会社	高知県	汚泥	6	0	0

月10日

産業株式会社

合計	単位
0	Ton
16	Ton
0	Ton
171	Ton
0	Ton
147	Ton
0	Ton
6	Ton